

女性の活躍推進に向けた 経済産業省の取組

平成27年2月13日
経済産業省

多様な人材を活かした経営(ダイバーシティ経営)の推進

ダイバーシティ経営企業100選



- 女性をはじめ多様な人材の能力を最大限発揮させることにより、イノベーション創出等の成果を上げている企業を選定・表彰し、ベストプラクティスとして発信することで、女性活躍推進の動きを加速化。
- 現在89社を選定。
(平成24年度:43社、平成25年度:46社)。

なでしこ銘柄



- 経済産業省と東京証券取引所が共同で、女性活躍推進に優れた上場企業を「中長期の成長力」がある銘柄として投資家に紹介。
- 有給休暇取得率や柔軟な勤務制度の活用率、実労働時間に関するデータ等についての開示についても考慮。
- 平成24年度から開始し、平成24年度:17社、平成25年度:26社を選定。平成26年度は選定枠を拡大。

平成26年度選定企業は3月18日発表

【長時間労働の是正、働き方改革に関する取組の例】

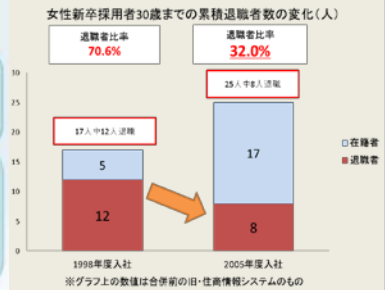
SCSK株式会社 (情報通信業)

- ・長時間労働削減のため、「残業時間削減目標」と「有給休暇取得目標」の達成度合いによって、報奨制度を設け、達成率の高い部署の社員に、ボーナスを増額し、**約4割の残業削減達成**。2年で1.5倍の労働生産性向上。
- ・「働きやすい会社ランキング」で、98位から23位に躍進し、**新卒エントリー数が前年比8.8%増**。

スマートワーク・チャレンジ20

有給休暇 **20日**取得
(100%消化)

月間平均残業 **20時間**
前年度比 **20%減**
与1日当たり **20分減**



女性新卒採用者の累積退職者比率が70%から30%に改善。
(平成25年度ダイバーシティ経営企業100選受賞企業)

サイボウズ株式会社 (情報通信業)

- ・「選択制人事制度」(ワーク重視、ワークライフバランス、ライフ重視の3パターンから各自が選択)と、「ウルトラワーク」(在宅勤務制度)により、**時間と場所の制約を超えて働く環境を整備**。
→**離職率が28%から4%に低下**。
- ・社員自身が在宅勤務で培ったグループウェア活用方法やニーズを、営業提案や商品開発に活かして、売上に貢献。

<選択制人事制度>

名称	概要	備考
PS2(ワーク重視型)	時間に関係なく働く	開発や企画系の人が多い 全社員の72%が選択
PS (ワークライフバランス型)	少し残業して働く	全社員の6%が選択
DS(ライフ重視型)	定時・短時間で働く	全社員の22%が選択

(平成25年度ダイバーシティ経営企業100選受賞企業)

カルビー株式会社 (食料品)

- ・2013年度から、間接部門の管理職を対象に、**在宅勤務制度**をスタート。
- ・「サマータイム」制度を採り入れ、早朝時間を利用した効率的な働き方に転換し、**早く退社して残業時間を削減する仕組みを導入**。その結果、**2年間で42%の残業削減達成**。

カルビーダイバーシティ宣言

掘りだそう、多様性。育てよう、私と**Calbee**。
互いの価値観を認めあい、最大限に活かしよう。

多様性こそ**Calbee**成長のチカラ。
「ライフ」も「ワーク」もやめられない、とまらない。

(平成25年度なでしこ銘柄選定企業)

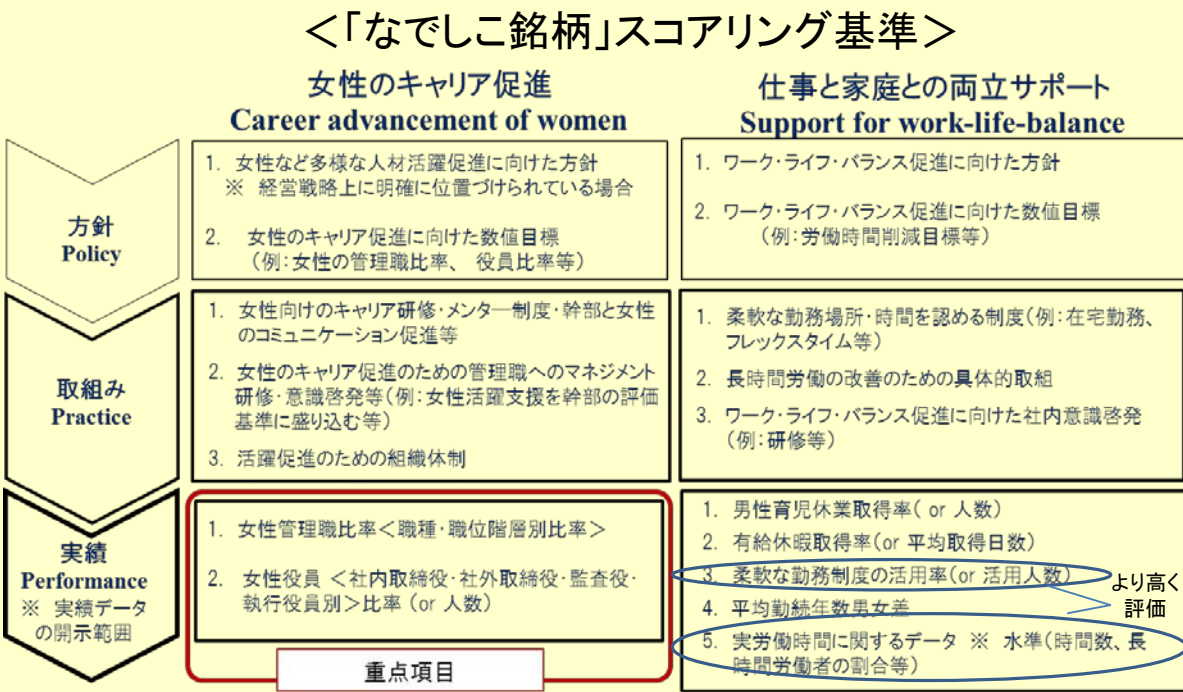
今後の取組の方向について

●ダイバーシティ経営企業100選

- ・現「ダイバーシティ経営企業100選」としては、3年目となる今年度で一区切りとなる。その上で、今年度までの事業成果を発展させ、ダイバーシティ経営のさらなる普及と定着を目指すべく、「新・ダイバーシティ経営企業100選」(仮称)として実施する方向。
- ・特に、女性活躍については、最も重要な課題の一つである、長時間労働の是正も含めた「働き方改革」により成果を上げている優良事例等を積極的に表彰する方向で検討する。

●なでしこ銘柄

- ・平成27年度は、スコアリング基準について、長時間労働の是正、柔軟な働き方といった項目等について、より高く評価することを検討。



※最終的な銘柄を選定する際に、考慮する情報。